

2022Japan National Team Report ”選手”



報告者	所属クラブ；海陽海洋クラブ 学年 中学三年 氏名 本多剛		
大会名	世界選手権		
開催地	トルコ Bodrum		
大会期間	6月27日～7月7日		
セールNo	3370	最終順位	67位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	朝は約30℃昼には35℃を超えるぐらいの気候で一日中暑い、水温は入れば冷たいと感じるがセーリングしているときはラッシュガードだけで問題ない。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	左右からくるブローの入るタイミングがむずかしかった。
セッティングで注意したこと	ガラミ幅を狭くしたり、アウトホールをフットにしわが入るぐらい引いたりして、セールを浅く張ってのぼり角度を出そうとしたこと。
セーリングで注意したこと	スタートラインの見通しを完璧にみてスタート直後に集団から少し頭を出せるようにしたことと、先頭や集団で走っているときにそこから離れず安パイなコースをひくこと。
海上で練習したこと	のぼり角度を意識したすべりの練習。色々な国とのレース形式の練習。

実際のスペリは どうでしたか？	クローズで負ける相手は本当に速いトップ選手ぐらいでほとんどの選手には負けなかった。 リーチングはゴールドフリースの誰にもかてなかった。
スタートは どうでしたか？	だいたい下スタートをしたけど、見通しが見やすかったから他よりバウが出たスタートができてそこまで 苦労することはなかった。
コース戦略は どうでしたか？	時々前を狙いたくなった時に少し集団を離れて奥に見えるブローを取りに行つて順位を落とすから、欲を 出さずに安パイな位置で少しずつ順位を上げるコースが一番いいと思った。
自分より上位の選手と の違いは？	スピードが速いので、ずっと集団として走っていてどっかにつっこむことはあまりなかった。上マークを 20番台で回ってもシングルに入れるスピードがある。
国内の練習で 役立ったこと	スタートで下側のスペースをできるだけあける練習が、スタート後に生き残るためには重要なことだと思 った。
国内の練習で 足りなかったこと	リーチングで全く歯が立たなかったのでリーチングのスピードをあげる練習が大事だと思った。
印象に残った 外国選手は？	LTU97 エリック 全レース同じフリースで走って、1 上が遅れてもシングルぐらいにきていて速い選手だと 思ったから。(7 位) BRA3475ダヴィ 速くて体が結構大きかったから年齢が一個下ぐらいだと思ってたけど U12 の選手だっ たから。(9 位)
行く前と、行ってからで 違ったことはありまし たか。	先入観をもってコースを考えてしまっていたのでそれでは本当に海面に吹いてる風を正確に見てコース を考えれないから先入観は捨てようと思ったことと、速い選手を絶対に勝てない相手だと思い込まないこ と。
今後の 課題と目標は？	別の艇種で世界大会に出ること。
JODA への要望	特がない。
その他	特がない。

ご協力ありがとうございました

JODA 海外派遣委員会